



學事集會

●女子高等師範學校 ▲今回私費地理歴史専修

科生四拾名、及家事専修科生二十四名を募集せり

前者は一昨年九月第一回生徒を入学せしめ、本年

三月卒業の由にてふ日何れも地方師範學校女子部

若くは高等女學校等の教員として夫々赴任すと聞

く、當科は今回新に外國語の科を加へ修業年限

を改めて二箇年とし、益々該科教員たる學識を收

得することを多からしめ、後者は三十二年七月第

一期卒業生を出し、何れも地方中等教育に従事し

て好成绩あり、入學志願者は兩科共に品行方正身體健全にして、修業年限四ヶ年の官公立高等女學校卒業生、若くは之と同等の學力を有し、年齢十七年以上三十年未満、夫を有せざるもの由、本年三月三十一日迄に願書を差出さば、四月上旬試験の上入學を許可せらるべしと。▲本年卒業す

べき見込の同校生徒は文科廿三名、理科十七名、地理歴史専修科卅四名にして卒業式は本月卅一日舉行せらるべしといふ。▲同校助教授廣瀬豐十郎

氏は、先月廣島縣高等女學校長に任せられたり。▲同教諭岡田光氏は外國語教授法研究の爲、米國に留學を命ぜられしが、先月廿二日午前十一時五

十分新橋を出發せり。

▲各女學校生徒募集 東京府第一高等女學校は、第一學年四十八名二學年三學年各補缺生募集入學

試験は四月一日二日、**▲同第二高等女學校**は、第一

一學年に四十八名募集、入學試験は四月一日の由

**▲同第三高等女學校**は、一、二、三各年級に、七十人

つゝ募集の筈、**▲日本女子大學校**は來る四月の新

學期を以て、國文、家政、英文の三學部の一年級

英文豫備科の第一、第二、附屬高等女學校にて

は五學年を通じて補缺生を募集し、出願の順序

により有資格者は無試験にて入學を許可する筈な

りといふ。**▲其他何れの學校**も、大低生徒募集中

なるが如し。

**●保姆傳習所** 先月を以て卒業の豫定なりし、

東京府教育會附屬保姆傳習所は、都合により尙本

月凡そ半ヶ月の見込を以て、延期したりといふ。

**●私立足利幼稚園** 同園は、本年一月開園せる

ものにして、目下女子高等師範保姆練習科卒業、

關すが子氏主任となりて、從事せられ居る由なる

か、園主は山越窓空氏にして、駿阿寺の學頭たり。

常に同地方の風俗純ならず、子女教養の効擧らざ

るを概し今回、自己所有の第宅を以て、幼稚園に

充て、關氏を招聘して、教養を依托せるなりとい

ふ。

**●女子高等師範學校入學試験問題** 本年一月行

はれし同校本科入學試験問題左の如し。

國語科問題

(二時間)

○文法

(注意) 文法の答と解釋の答とは別紙に認むべし

一、左ノ施線ノ部分ニツキテ、文法上ノ差異ヲ説ケ。

(イ) 啼く鶯の聲すなり。

(ロ) 今これを説明するなり。

(ハ) そこに入ありや。

(ニ) あな、たのみなき人のルヤ。

二、左ノ文ニ誤アラバ正セ。

(イ) 此品に手を觸るるべからず。

(ロ) かくと申せしかば、それにてよしと言はれし。

(ハ) 雪を戴く峰巒は雲表に聳へ、藍を流る湖水は樹林の間へ隠見す。

○解釋

神功皇后韓國をここむけ給ひしより以來國大に開け民ますく蕃りては教化の道なくてえあらぬ事なれば儒佛の教を採用し給へるも已む事を得ぬ理なりさるに儒佛の道開けずは今もなほ上代の儘ならむなごうれたむもさるこころながら時勢は四時の遷るが如し夏日の葛冬夜の装いっで、一偏を固執せむ純一無慾の小兒をよこして名利の念熾なる若人を教へんごすも其の勢やいたづらならむ

○作文

(二時間) 將來の希望と覺悟とを述ぶ。

(注意) 先、古ニ比シテ明治ノ御代ニ生レタル女子ノ幸福ヲ

略説シ、次ニ已ガ將來ノ希望ト覺悟トヲ述ブベシ。

歴史科問題

(三時間)

(注意) 本邦史の答と東洋史、西洋史の答とは各別紙に認むべし

○本邦史

(一) 延喜の御世の有様につきて知れる所を述ぶべし

(二) 左記の人々の事蹟を記せ

松下禪尼 林子平

(三) 明治四年に藩を廢して縣を置かれたる始末の大意を問ふ

○東洋史、西洋史

(一) 漢孝武帝の事業を記せ

(二) 清露間に締結せられたる尼布楚ンヌク條約の要點を記せ

(三) 支那史にある左の地名は今日の何處に當るや

(四) 十九世紀の初歐洲列國間に生トたる神聖同盟の性質を説明せよ

(五) 米國に於ける南北戦争の始末を記せ

(六) 左の人名に關する事蹟を略記せよ

マルチン、ルーテル、 Martin Luther.

フレンシス、 Humphal.

漢文科問題 (二時間)

(注意) 毎字讀方の音訓に假名を付け別紙に意義を解釋すべし

問題一

清少納言老而家居屋宇甚陋郡署年少見其貧窶憫笑之少納言

自廢中呼曰不聞有買駿馬骨者哉笑者慚而去

其二

趙王倫嬖詔勒兵入宮逼晉帝禪位燕與皆爲痴相奴卒亦

加爵位每朝會貂蟬盈坐時人語曰貂不足狗尾續

其三

具曰予聖誰知烏之雌雄

肉袒負荊

與賴衝壁

理科問題 (三時間)

(注意) 物理、化學、博物の答を各別紙に認むべし

○物理

(一) 何を物體の重心とは云ふや

(一) 凹鏡の主焦點に一光源を置くときは其反射光は如何なる方向を取るや

○化學

(一) 炭酸瓦斯の製法及び性質を記せ

(一) 酸化、還元、潮解及び風化とは如何

○博物

(一) 子房下位花及び子房上位花の構造を記せ

(一) 有胚乳種子と無胚乳種子との別を問ふ其の各一例を擧げて之れを記せ

(一) 動物の呼吸作用によりて空氣を取るは生理上如何なる必要ありて然るか

(一) 人體の食物消化に關する器官及び其の各部の名稱を記せ

數學科問題 (三時間)

(一) 分母の相異なる分數を加ふるに之を通分する理由如何

(一) 英國金貨幣壹磅は純金の目方七、三二二(グラム)なり之を換算すれば幾幾圓となるか

(一) 左式の結果を小數に直せ

$$\left( \frac{11}{9} - \frac{3}{12} \right) \times \frac{1}{\frac{5}{44}}$$

$$\frac{17}{3} - \frac{2}{4} + \frac{2}{3}$$

(四)

旅入あり十五日間に百八十七里半を行く割合にて八十里を六日と四時にて歩めり云ふ此人毎日何時間づゝ歩みたるか

(五)

壹圓未滿の元金には利息を附せざることとして年利六分元金貳百六拾六圓の三年間に生ずる複利を求めよ

(六)

一つの角を二等分する直線上の何れの點を取るも二つの邊より相等しき距離にあることを證明せよ

(七)

梯形の平行なる二邊と高さとの與へて面積を求むる方法并に其理由を記せよ

(注意) (三)に就きては運算を詳記し(四)(五)に就きては解法、運算、答を明記すべし

圖畫科問題

(一時間)

毛筆畫

練畫 硯、筆

墨畫 菊

壹葉に畫くべし  
壹葉に畫くべし

裁縫科問題

(三時間)

唐縮緬友禪大巾たけ一丈六尺七寸の用布にて三ツ身裁着物并に四ツ身裁被布各表一枚を普通寸法によりて裁たんとするるときは其裁ち合せ方如何にして可なるか

右の圖解に各部の名稱及寸法を記入し且その積り方の算式をも示せ

與ふる所の布と糸とを用ひて七分の裙左右を縫ふべし但綿は省く

筆の雫

●天恩優渥 青森第五聯隊雪中行軍遭難の件一

たび天聽に達するや、悉くも直に侍從武官を遭難地へ御差遣相成り、特に優渥なる慰問の御詔を傳へさせられ、且つ夫々御菓子料を賜はりたるが、今又承る處によれば、侍從武官の歸京覆奏あるや更に一層惻然に思召され 天皇 皇后兩陛下より更に厚き御弔慰金を賜るやに承はれり。

●四十萬圓の慰勞金 兵庫縣武庫郡西の宮の酒造家辰馬吉左衛門氏方の業務を主管せる、辰祭之助といふは今より四十五年前、先代吉左衛門の代に奉公し六十四歳の今日に至るまで、忠勤一日の如く最初二千石内外の醸造より、當時の醸造高二萬六千石の盛況に達するに至らしめ、其間辰馬家の財産八百五十餘萬圓を増加し、且つ本業の外に

海運業燐寸製造業を起して之を管理するなど、其功績甚だ大なるものなりしが、此頃老年の故を以て退隱を申出で、主人も愈々之を許可すると同時に、多年の功勞に酬ゆる爲め、三組の金盃に金四十萬圓を添へ慰勞として贈與したりといふ、主従ともに感心の至といふ可し。

●禿頭病豫防取締方に就て 再發せる禿頭病の豫防に就ては、府下各警察署に於ても男女性理髮業者の取締方を厲行なす由なるが、殊に女髮結の不潔なる櫛共を用ゐるを發見次第其取締をば嚴重にすべしといふ。

●傳通院の凍死者追弔會 小石川傳通院にては去る二十三日午後一時より青森凍死者追弔法會を執行し、神谷大周、清水信順、兩氏の視察演説并に奉納劍舞等ありたりといふ。

●我國の癩病患者  
癩病は實に難症なるものな

るが、我國には四千五百萬人中に九十九萬人の系  
統ありて三萬以上の患者あるも、獨逸にては五千  
五百萬人中、僅かに十二人に過ぎず、豈に比較の  
限にわらずやとは山根醫長の言、而して此病氣は  
不淨場よりも布團よりも傳染するものなれば、普  
通の人と病人と雜居するは危險千萬なり、されば  
癩病盲啞等の患者を一院に收容する一大慈惠院を  
設立するは、目下の急務なりと云ふべし。

(婦人衛生雜誌)

●有妻者は長命  
獨逸の統計大家フイルツ博士  
は、多年の間、材料を集めたる結果、結婚したる  
人は獨身者より一般に長命なることを知り得たり  
即ち氏の作れる統計表によれば、年齢三十歳より  
七十歳迄の既婚者の死亡數は、同年齡の獨身者の

死亡數より少きこと五分の三にして、三十一歳を  
經經したる獨身者の平均年齢は、五十八歳と十分  
の六なれども、既婚者のそれは六十四歳と十分の  
四なりと。

ドクトル、バッペンハイム氏の訃音

久しく

ベルリンフレベル會、及獨乙フレベル會の會長  
として、幼稚園教育に熱心盡力せられたるバッ  
ンハイム教授は、先頃遂に永眠に就かれたりとの  
ことなり。全教授は中々懇篤親切なる方にて、特  
に我國より留學せる人々など、世話に預ること多  
かりしとのことなり。

地方通信

▲高知通信

在高知通信員

●當地の女子教育は近來頗に盛況を呈し、從つて

女子教育者も少からず、縣下唯一の教育會中には

女子部の設ありて、年々一回の總集會を催し來り

候が、之が會員も随分少からざる様子に御座候。

●生徒は目下千四百五十名位なるべく、何れも市内

の各學校に通學致し居り候。されば公立の學校と

ては唯一の高等女學校あるのみなれば、年々志望

者に満足を與ふること能はず、止むを得ず、撰拔

試験によりて其幾分を收養致し居り候次第に候。

●されば私立の女學校も多く、小なる裁縫傳習所

を加へなば、殆んど二十餘ヶ所にも上らんかと存

じ候。

●其中主要なるものは、高知實業女學校、高知成

女學舎、中村女子手藝傳習所、勝賀瀨女藝傳習所

高知女子英語學會、宮内裁縫傳習所、佛教婦人會

などに御座候。

●服装は、高等女學校生徒のみ、海老茶袴を着用

いたし、其他は何れも普通の服装に御座候、され

ど何れも極めて、質粗なる點に於ては、同一に御

座候。

●尙次號よりは、各學校について、尙悉しく御報

導申し上ぐべく候。

▲長野通信

長野 飯島 八千溪

●長野小學校には十五ヶ年以上勤続者が三名も

います一月廿八日に此等三名の爲めに市役所、學

校職員等が主動者と爲りて祝賀會を開き紀念品を

贈りました、今其姓名を擧ぐれば

宅地七十坪贈與

校長 渡邊 敏君

日本大字典  
康 熙 字 箱

准訓導 神山 眞禪君

日本大字典  
日 本 文 庫 箱

同 福田 みつ子

一月廿八日は、即ち校長の誕生日なので、殊に校長の爲めには、縣下の知名の教育者が十里二十里を遠しとせずして參會せられた、他は推し知るべくで、迎も、其盛會、其熱情筆紙に盡し難い程で、  
ムいしました。

尙當校には、十年以上十五ヶ年未満の者は八九名もムいますれば、學校は申までもなく、市の青年と學校とは、師弟の關係と申さんよりは、寧ろ家族的關係を有し、其間が、濃かな、温い心情を保つて居るのは、誠に、喜ばしうムいます。

▲神奈川県通信

相模通信員 平 岩 繁 治

▲神奈川県開設の尋常小學校本科正教員講習會規定中此れまで男生のみなりしが、今度八十人の所半數男生半數女生を置くことに定められ、男子は十九年六ヶ月以上にして准教員免許狀を有する者、女子は十七年六ヶ月以上にして男生と同等以上の學力ある者と定められたり。

▲神奈川県師範學校に於て、明治三十五年度本科一年へ入學を許すべき人員は八十人二月二十七日より同校に於て入學試験を行ふ由、其の期限は四日間。

東京だより

梅一輪一輪づゝの暖さ、極寒凌ぎ難かりし時節



も、漸く通過して、本月よりは、聊か、長閑さ心地の致さるべく、一雨毎に拳の如く伸び来る青山の巖を摘む田舎の愉快、左こそと存じられ候折柄、今日此頃の東都の有様ニツ三ツ御報導致さんかと存じ候

▲先月は、例の第五師團兵雪中大棒事の噂、近來の大慘事として、至る所に喧傳せられ候、思へば憫れの事どもに候、一朝事ある日、彈丸雨注の間に強敵と相見えて、引き組むべき丈夫の、何事ぞや、東奥の果に、無情の風雪に襲はれて斃れ候事残念の程思ひやられ候、あはれ、春は來りて雪は跡なく消ゆとも、二百有餘の忠義魂は、永遠に彼地に消え申すまじく、八甲田山の邊り千古に、暗澹の影をといひべくと存じ候。

▲例になき本年の寒さ、數十年來其比を見ずと、

さる物知りの老人の申され候。さればにて候か、先月來當地に於ては、風邪、デフテリアの流行甚しく、知る人毎に殆んど風邪にかゝらぬはなく、デフテリアは、専ばら幼児を襲ひ候由に御座候。

▲梅の音信は、先月末の方より、ちらほら傳へられ候。湯島境内の梅花は、先月十六日頃一輪二輪笑ひかけ候ひしが、昨今は満開に近く候、臥龍、江東の梅、蒲田大森の梅、さては池上大宮の梅は此頃より一週間ほどは見頃に候、要するに、もはや塾居籠城的の冬は過ぎて、本月より四五月にかけては、所謂花のお江戸となり申すべく、こゝ三ヶ月は當に東京人士の大浮れの時代に候。

▲本月は學年の終りに候ものから、卒業生は、中々忙しさと楽しさとの極限かと存じられ候。誰やらの言葉に、人間の最も愉快なる時は、始めて結

婚せし時と學校卒業證書を握りたる時とであると思はれしが、願くは、どこまでも此時の心地を以て一生を送る心懸けを致し度き事と存じ候。

▲諸學校とも生徒入學募集の廣告を出し候。序に申し上げ候、新文と申す雑誌に昨年の教育界の概観を出され候中に「明治卅四年の女子教育は、進歩といへば進歩はしたが、要するに皮相の進歩、形式の發達に過ぎない、女學校も大に増設せられたが、併し其中に錢儲け主義で以て、生徒を集めて月謝さへ取れば宜い、と云ふ學校も出來た云々」ぞ記され申候。なる程觀じ來れば、此種類の女學校も之なきにはあらざるべく、地方に居て、東京へ出れば何處の學校でも、皆立派なものと思ひ得て万一こんな學校へでも御入學なさる様の事あらば、夫こそ大變の事と存じ候。

▲久しく本會々員として盡力せられし、廣瀬豐十郎君は、今回廣島縣高等女學校長として客月赴任致され候。同縣の女子教育今後頗る見るべきものあらんと樂しみて相待ち居り候。

▲本會々員岡田光子君も、愈先月廿二日横濱出帆洋行の途に上られ候。同君の秀才は万人の認むる所、歸朝の後は、我國外國語教授方法の上に、偉大なる影響を與へらるゝこと、今日より囑望致し居り候。

▲申し上げたき事數限りなく候へども、つまらぬ事に貴重之餘白をと存じ、後は後便に譲り候。尙折々は、面白き地方のお話しも何度く候。以上

新刊紹介

●菅公傳 全一冊 中村秋香氏著

菅公一千年祭舉行につき、同公の傳の著述せられしもの二に留  
らず、本書も其一なり。四十八頁に過ぎざる小冊子なれども、著  
者流麗の筆は、實に菅公を盡き盡して、紙上に活躍たらしむ。加  
ふるに挿畫の美しき、印刷の鮮なる、小學校賞品などには最適當  
なるべし。(定價七錢 實捌所 東京神田區今川橋通北 誠之堂)

新刊雜誌

●を附したるは  
婦人雜誌なり

- ▲大八洲雜誌 卷一八七 大八洲館
- ▲日本婦人 第二七號 帝國婦人協會
- ▲衛生談話 第一三號 通俗衛生茶話會
- ▲教育時論 第六〇四、五、六號 開成會社
- ▲教育實驗界 第九卷第二、三號 育成會社
- ▲婦女新聞 每 號 同社
- ▲苦學界 第一〇號 苦學社出版部
- ▲山梨教育 第八六號 同社
- ▲學生俱樂部 第二卷第五號 育成會社
- ▲女子の友 第一〇八、九號 東洋會社
- ▲大阪府教育會報 第一八七號 同會社
- ▲東京市教育時報 第一七號 同會社
- ▲教育學術界 第四卷第四號 教育學術研究所
- ▲牟婁新報 每 號 牟婁新報社
- ▲ひんな 第二卷第二號 大日本女學會
- ▲健康乃菜 第九號 全社

- ▲家庭 第二卷第二號 全發行所
- ▲新文 第二卷第一號 言文一致會
- ▲日本の小學教師 第四卷三八號 國民教育社
- ▲うらにしき 第一一二號 尙綱社
- ▲六合雜誌 第二五四號 日本ゆにてりあん弘道會
- ▲考古界 第八、九號 考古學界
- ▲婦人新報 第五七號 全社
- ▲婦人衛生雜誌 第一四七號 私立大日本婦人衛生會
- ▲福島教育 第八一號 全社
- ▲上野教育會雜誌 第一七二號 全會事務所

謹告

御寄贈の新刊書籍雜誌等には、必らず  
本會宛にて御發送下されたく、往々取  
り紛れ候事有之に付き念の爲め申し上  
げ置き候

會報

第二十四常會 二月一日午後一時三十分より女子高等師範學校附屬幼稚園に於て開會せり、中村

圭幹の開會の辭續て尺秀三郎君の話の仕方につき演説ありそれより會員野口ゆか子姉の神戸幼稚園

參觀の話山越忍空君の談話あり暫時休憩の後保姆合唱の唱歌をなし午後五時洋々の間に閉會せり本

日は折あしく雨天にて、道路の泥濘も亦甚しかりしに、會員の熱心なる來會者三十五名に及び其

他に傍聽者拾數名なりと。 寄附

一金五圓也

右會員山越忍空氏より本會に寄附せらる、茲に謹んで氏の厚意を謝す

會員高浦丈雄君客月中旬より肺炎に罹られしが藥石効なく遂に其月廿三日逝去せらる、茲に謹んで弔意を表す

入會

東京ノ部

東京府女子師範學校 麻布幼稚園

神田區淡路町一ノ一 東京府第一高等女學校

本郷區春木町二ノ二三小杉氏方 麻布區飯倉片町二七

女子高等師範學校寄宿舎

地方ノ部

愛媛縣宇和島高等女學校 東京府下青梅小學校附屬幼稚園

仙台市東二番町 朽木縣足利町鑿阿寺

鳥取市立川町三ノ八一 神奈川縣鎌倉字小町

香川縣三豐郡觀音寺村觀音寺小學校 千葉縣千葉郡中野郵便局區内三洲小學校内

土川 五郎

千田 孝壽

小谷野 かれ

岡本 ちか

新海 ふみ

菱沼 こなつ

赤江 よね

東條 順

長谷川 春

野副 さよ

山越 忍空

尾崎 萬龜

鶴田 ゆい子

大西 永太郎

小幡 たみ子

神奈川縣高座郡松林村菱沼太田市五郎方  
肥後國菊池郡陣内村  
仙臺市琵琶首町

改姓

轉居

門脇事

東京市小石川區久堅町四八  
同 大和町二七へ  
同 神田區駿河台北甲賀町一七清水方へ  
同 日本橋區蠣壳町一ノ四平井彌七方  
神奈川縣橋樹郡子安村三三〇七へ  
山口縣熊毛郡寶積へ  
三重縣山口岩淵町海野たつ方へ  
石川縣金澤市下本多町番町二へ  
群馬縣高崎幼稚園へ  
大坂市南區灘波元町一ノ五三六澤須策方へ  
岡山縣師範學校附屬幼稚園へ  
香川縣綾歌郡阪出町阪出幼稚園へ  
三重縣四日市江田町三四六西脇又作方へ  
丹後國加佐郡舞鶴尋常高等小學校幼稚園へ  
前橋市石川町六へ  
香川縣綾歌郡宇多津今市へ  
栃木縣足利町足利幼稚園へ

平岩 繁治  
合志 章子  
早川 ちやう

加藤 せつ

關口 たけよ  
師岡 伸  
矢野 ふさよ  
林田 もと  
福島 ちか  
木原 いさ  
酒井 冬  
山田 みつ  
富岡 むめ  
吉田 まさ  
田邊 春  
中川 よし  
中澤 よし  
海野 きみの  
野村 きん  
澤村 きみ子  
關 すが

京都市上京區油小路城巽幼稚園へ  
北海道石狩國上川郡旭川町宮下通十八ノ左三號 儀 俄 ふみ

會費領収は紙數の都合により次號に譲  
り候間、御承知相成り度く候。

尙會務整理の都合上、會費未納の諸君  
諸姉は至急御送附相成り度く候。